

アネスト岩田株式会社 2022年3月期2Q 決算補足説明資料

2021年11月10日

東証1部 機械

証券コード6381

アフターコロナを見据えた営業改革を進めており、世界的な景気回復傾向で、その効果が顕在化。増収増益を達成。利益率も改善。

売上高：20,360百万円（前年比 +3,828百万円、+23.2%）

営業利益：2,378百万円（同 +948百万円、+66.3%）

エアエナジー 事業

・中国を中心とした汎用圧縮機の売上高や日本や東アジアを中心とした真空ポンプの売上高が伸長

・圧縮機モータ調達の不足に伴う影響は約6千万円

売上高：12,114百万円（前年比：+2,585百万円、+27.1%）

（ご参考）

営業利益：1,250百万円（同：+448百万円、+55.8%）

営業利益率：10.3%（同：+1.9pt）

コーティング 事業

・スプレーガンを主とした汎用機器の売上高が伸長

・エアブラシの需要が継続

売上高：8,246百万円（前年比：+1,242百万円、+17.7%）

（ご参考）

営業利益：1,128百万円（同：+500百万円、+79.7%）

営業利益率：13.7%（同：+4.7pt）

（注）1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定。

2.日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生。

収益はコロナ禍以前の水準を超え*、売上高、営業利益、経常利益は半期ベースで過去最高実績を更新。2022年3月の業績予想を上方修正。

欧米・中国の経済回復が牽引。真空機器・塗装機器の販売拡大により全体の利益を押し上げ。3Q以降も売上回復基調を見込む（→P8参照）

* 2020年3月期2Qとの比較:売上高 19,535百万円比+4.2%、営業利益 2,222百万円比+7.1%

	2021年3月期 2Q		2022年3月期 2Q		前年同期比			2022年3月期業績予想			
								期初		修正後 (2021年11月5日発表)	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	16,531	—	20,360	—	+3,828	+23.2	—	38,500	52.9	40,500	50.3
営業利益	1,430	8.7	2,378	11.7	+948	+66.3	3.0	3,600	66.1	4,250	56.0
経常利益	1,759	10.6	2,670	13.1	+911	+51.8	2.5	4,100	65.1	4,770	56.0
親会社株主 帰属純利益	1,131	6.8	1,688	8.3	+556	+49.2	1.4	2,515	67.1	2,960	57.0
平均為替レート 円/米ドル	108.27円		107.69円		0.58円 円高			103.00円		109.00円	
平均為替レート 円/ユーロ	119.3円		129.82円		10.52円 円安			118.00円		130.00円	
平均為替レート 円/人民元	15.39円		16.66円		1.27円 円安			15.00円		16.80円	

売上高が増加の一方で、コスト上昇は限定的。販売管理費率は減少。

- 売上高：為替変動による影響額（+699百万円、前年同期比、以下同様）
- 売上原価：売上の増加及び原材料費の高騰などに伴う上昇も、商品ミックスなどにより原価率は減少
- 営業利益：為替変動による影響額（-39百万円）
- 営業外収益/営業外費用：前期に発生した新型コロナウイルス禍に伴う雇用調整助成金の減少（-104百万円）、為替差益の発生（+10百万円）/為替差損の減少（-43百万円）
- 特別利益/特別損失：前期に発生した新型コロナウイルス禍に伴う雇用調整助成金及び損失の減少

	2021年3月期 2Q		2022年3月期 2Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)
売上高	16,531	—	20,360	—	+3,828	+23.2	—
売上原価	9,690	58.6	11,526	56.6	+1,835	+18.9	-2.0
売上総利益	6,840	41.4	8,833	43.4	+1,992	+29.1	+2.0
販売管理費	5,410	32.7	6,455	31.7	+1,044	+19.3	-1.0
営業利益	1,430	8.7	2,378	11.7	+948	+66.3	+3.0
営業外収益	453	2.7	338	1.7	-115	-25.4	-1.1
営業外費用	125	0.8	46	0.2	-78	-62.8	-0.5
経常利益	1,759	10.6	2,670	13.1	+911	+51.8	+2.5
特別利益	77	0.5	3	0.0	-74	-95.4	-0.5
特別損失	100	0.6	4	0.0	-95	-95.3	-0.6
税金等調整前純利益	1,736	10.5	2,669	13.1	+933	+53.7	+2.6
法人税等	478	2.9	695	3.4	+217	+45.4	+0.5
非支配株主帰属純利益	126	0.8	285	1.4	+159	+126.0	+0.6
親会社株主帰属純利益	1,131	6.8	1,688	8.3	+556	+49.2	+1.4

1Q終了時点の想定と2Q終了時点での差異

<売上高差異の要因>

- 日本の動向を懸念も、真空機器、圧縮機製品を柱として回復のペースが加速
- インドのコロナ禍からの回復に懸念も、医療向け以外に汎用圧縮機の需要も回復
- 為替による影響（円安進行）

	2022年3月期			2022年3月期
	1Q実績	上期 期初予想		上期実績
	(百万円)	(百万円)		(百万円)
売上高	9,100	19,000		20,360
営業利益	893	1,750		2,378
経常利益	1,114	2,000		2,670
親会社株主 帰属純利益	700	1,250		1,688
平均為替レート 円/米ドル	105.90円	103.00円		107.69円
平均為替レート 円/ユーロ	127.69円	115.00円		129.82円
平均為替レート 円/人民元	16.36円	15.00円		16.66円

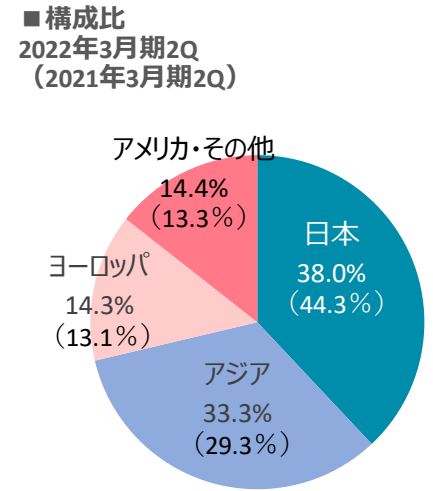
<営業利益差異の要因>

- 売上高の伸長に伴う増加
- 商品ミックス
 - ・塗装機器の売上増、及び1Qに事業譲受を行ったアメリカ子会社の収益良化
 - ・塗装設備の売上減
 - ・真空機器の売上増 など
- 販管費のコントロール継続
 - ・販管費19.3%増(前年同期比)
 - 売上高23.2%増(前年同期比)

中国及びインドを主としたアジア（東南アジアを除く）を筆頭に、各エリアでの経済回復により汎用品売上が増加。日本はコロナ禍発生前の水準に近づく。

- ・日本：緩やかな回復基調の中で、前年同期比では塗装設備を除き増加も、コロナ禍前の2020年3月期2Q比では、真空ポンプを除き、圧縮機及び塗装機器はわずかに未達。塗装設備は同2期比較でいずれも未達にて、下期は営業活動の制限緩和により、短期で納入可能な物件のみならず、来期以降の物件獲得に向けた活動を継続
- ・ヨーロッパ：自動車補修市場向けのプロモーション奏功によるスプレーガンやエアブラシなどの塗装機器が伸長。圧縮機は回復傾向も真空ポンプはロシア向け販売が低調にて減少
- ・アジア：東南アジアを除き、中国SCR社*、インドなどの圧縮機や東アジアの真空ポンプが好調に推移。塗装機器及び塗装設備は中国がアジア全体を牽引 *SCR社:上海斯可絡圧縮機有限公司
- ・北米その他：自動車補修市場における事業の一部を譲り受けたアメリカの塗装機器及びエアブラシの売上が好調に推移。医療向け圧縮機や装置メーカー向け真空機器の売上也堅調

(百万円)	2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	増減額	増減率 (%)	エアエナジー事業		コーティング事業	
					圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	7,327	7,736	+408	+5.6	◎	◎	◎	×
ヨーロッパ	2,168	2,912	+743	+34.3	○	▼	◎	-
アジア	4,842	6,783	+1,941	+40.1	◎	◎	◎	○
北米その他	2,193	2,927	+734	+33.5	◎	◎	◎	×
合計	16,531	20,360	+3,828	+23.2	◎	◎	◎	×



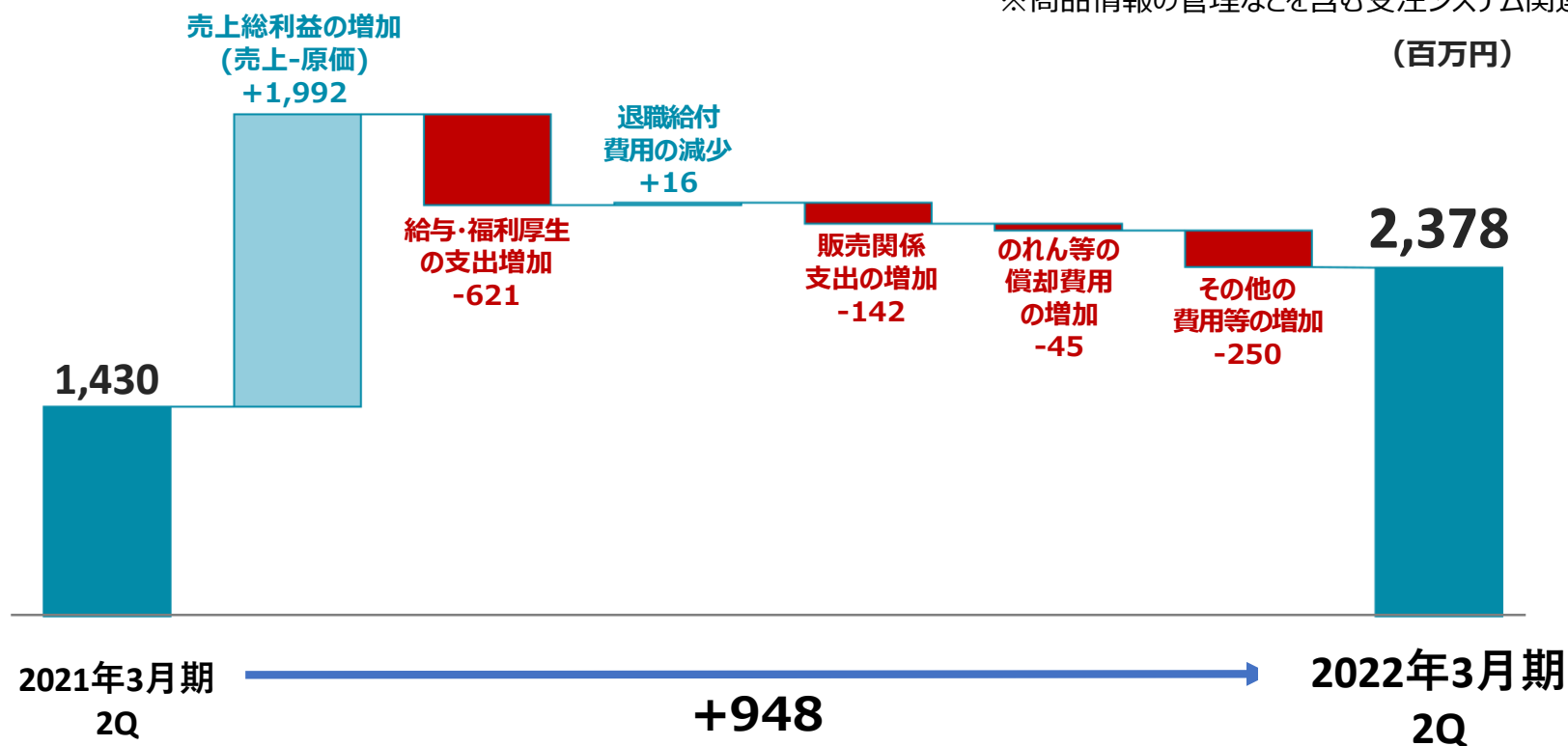
注) 納入地ベースでの実績換算

◎ 10%～ ○ 3%～10% △ 0%～3%
▼ 0%～-3% ● -3%～10% × -10%～

増収効果がコスト増を吸収し、増益に寄与

- ・前年同期に特別損失へ振り替えていた給与などを含む支出の増加
- ・減価償却費等、償却費用の増加（前期比+45百万円）
内、のれんの償却額：125百万円（前期比+24百万円、アメリカにおける事業譲受）
- ・その他の費用等に含まれる支払手数料の増加
（前期比+158百万円 内、IT投資に係る支払手数料※は約71百万円）

※商品情報の管理などを含む受注システム関連、ほか



業績・配当ともに上方修正:圧縮機のモータ調達は正常化へ。売上回復傾向を見込む

単位：百万円		2021年3月期 (実績)	
		実績	構成比 (%)
売上高		35,588	100.0
エアエナジー	圧縮機	19,304	54.2
	真空機器	1,561	4.4
	小計	20,866	58.6
コーティング	塗装機器	11,483	32.3
	塗装設備	3,239	9.1
	小計	14,722	41.4
営業利益		3,444	9.7
エアエナジー		1,821	—
コーティング		1,623	—
経常利益		4,253	12.0
親会社帰属当期純利益		2,623	7.4
平均為替レート 円/米ドル		106.82	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		121.81	
平均為替レート 円/人民元		15.48	
配当 (中間+期末=年間)		12円 + 12円 = 24円	

2022年3月期 (見通し)				
期初予想 (5/10発表)	修正後予想 (11/5発表)	構成比 (%)	対期初 計画比(%)	前年比 (%)
38,500	40,500	100.0	5.2	13.8
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
22,400	24,000	59.3	7.1	15.0
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
16,100	16,500	40.7	2.5	12.1
3,600	4,250	10.5	18.1	23.4
1,868	2,210	—	18.3	21.4
1,732	2,040	—	17.8	25.7
4,100	4,770	11.8	16.3	12.2
2,515	2,960	7.3	17.7	12.8
103.00	109.00		+6.00	+2.18
118.00	130.00		+12.00	+8.19
15.00	16.80		+1.80	+1.32
13円 + 13円 = 26円				

売上高：圧縮機のモータ調達が正常化。 日本及び東南アジアにおける回復ペースが加速

- 日本：景気の緩やかな回復に伴い汎用の圧縮機及び塗装機器製品の伸長を見込む。今期計上に向けて塗装機器に含まれる環境装置の拡販に特化。
- アジア：好調な中国に加えて、インドの圧縮機伸長及びタイ、インドネシアを主とした東南アジアにおける営業活動の再開による回復を見込む。
- ヨーロッパ：自動車補修市場へのプロモーション継続と木工・皮革市場向け塗装機器の拡販に注力。好調市場への汎用圧縮機販売を特化。
- 北米その他：アメリカの塗装機器事業譲受による伸長及びエアブラシの好調維持を見込む。ブラジルにおける医療市場向け圧縮機の伸長。

営業利益：事業基盤強化のIT関連投資は下期に集中も予定通り遂行中。 3Q以降も売上回復基調を見込むが商品ミックスの悪化や投資の増加に伴う利益の減少。

- 塗装設備の売上増加を見込む
- 旅費交通費/広告宣伝費：
営業活動の再開に伴う増額も、売上伸長にて影響をカバー
- IT関連投資：
①顧客データベースの構築②ECサイトの拡充③工場の通信インフラ整備など
継続する投資の本格化により、支払手数料は増加

< 期初の見通しに変更なし >

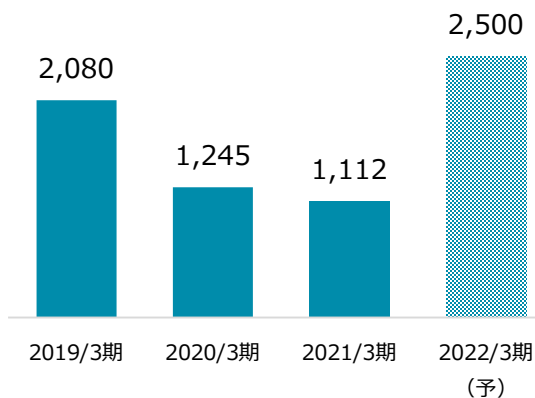
(実績) 2Q:設備投資額22.4%、研究開発費43.7%

IT関連投資:年間約700百万円の計画比で、本社・国内営業拠点の通信インフラ整備など、上期は約110百万円を実施(他、未検収分は約274百万円)。慎重な検討に伴い、設備投資は下期に傾注

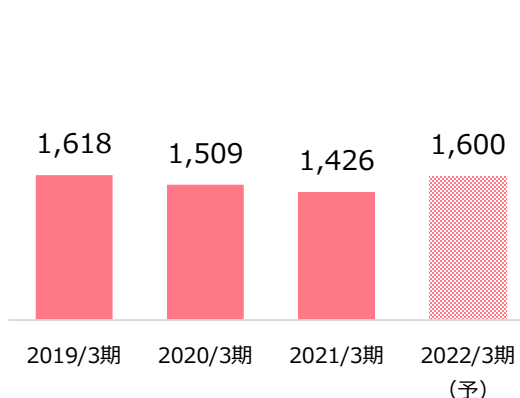
(百万円)	2022年3月期2Q実績			
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*	売上高
実績 (計画比)	559 (22.4%)	716 (44.8%)	502 (43.7%)	20,360
計画	2,500	1,600	1,150	-
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械等(新設・更新) ・生産ラインの増強 ・通信インフラ整備 ・IT関連投資 			

(注) 研究開発費: 研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

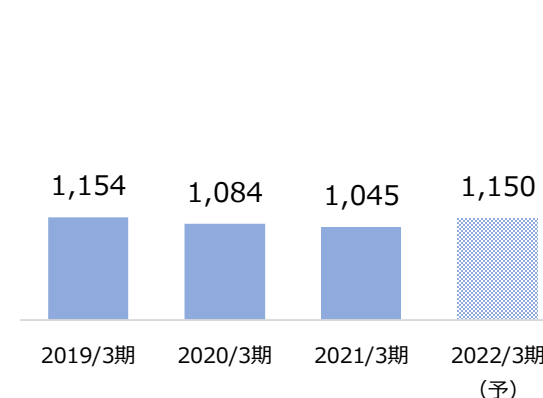
設備投資額 (百万円)



減価償却費 (百万円)



研究開発費 (百万円)



配当方針

成長投資の為の内部留保確保と安定配当の両立。
配当性向を35%以上。

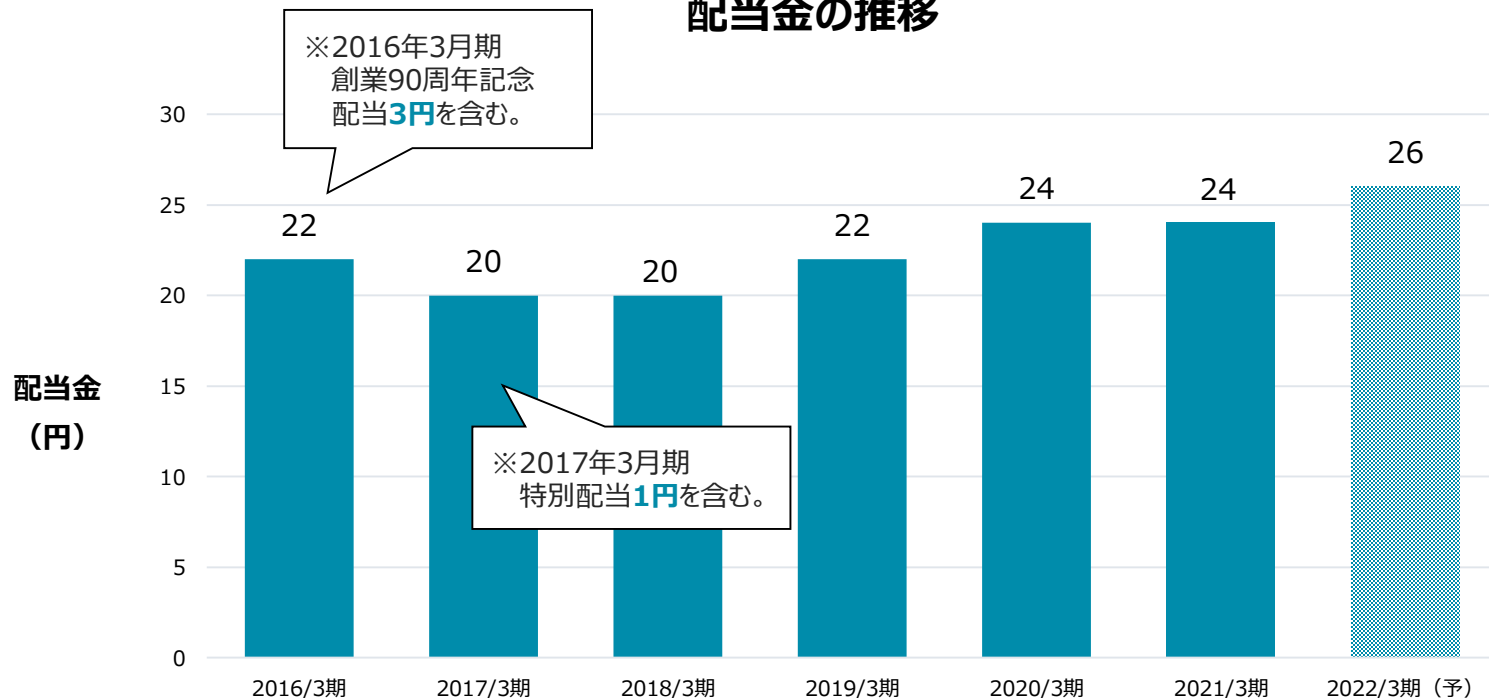
配 当

2022年3月期（予想）：**年26円（中間13円 + 期末13円）**

※ ※ 配当予想の上方修正を実施（2021年11月5日発表） ※ ※

配当	中間	期末	年間
期初	12円	12円	24円
修正後	13円	13円	26円

配当金の推移



「統合報告書2021」を発行（2021年9月）

ステークホルダーの皆さまに当社への理解をより深めていただくためのコミュニケーションツールとして、統合報告書を毎年発行。価値創造プロセスや事業の紹介、ESGの取り組みなどを掲載。

<新規コンテンツ>「ひと目でわかるアネスト岩田」、「ESG経営とSDGs」

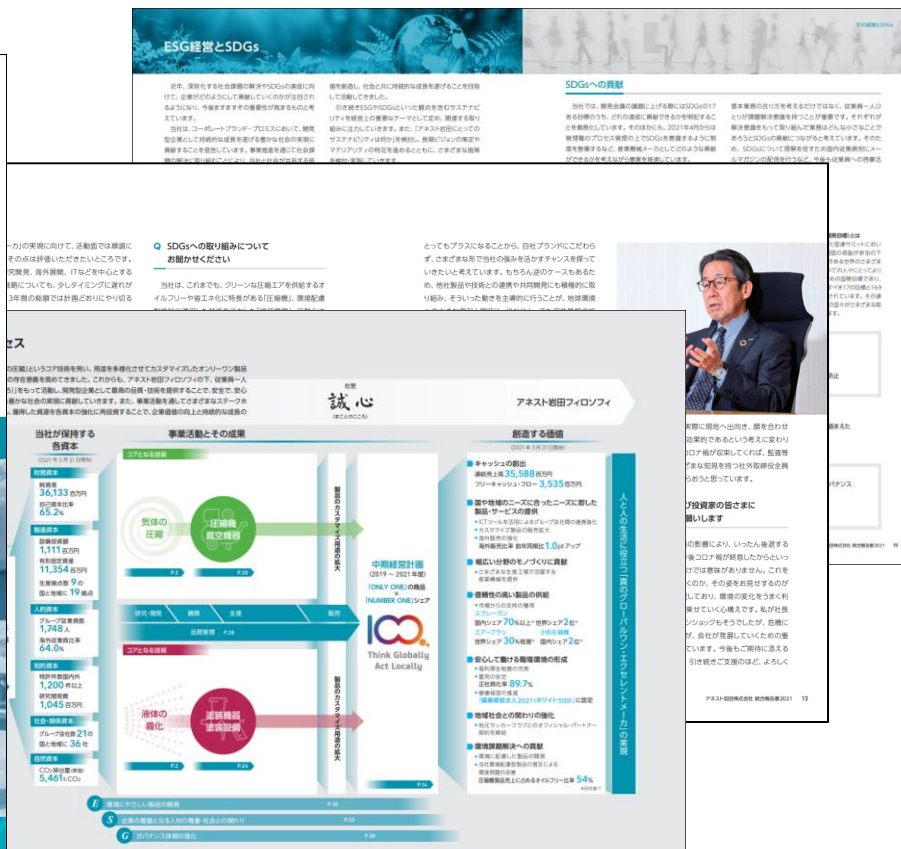
詳細はコチラ




ANEST IWATA

アネスト岩田株式会社 統合報告書 2021

アネスト岩田株式会社
Active with Newest Technology



ESG経営とSDGs

ESGへの貢献

SDGsへの貢献

Q ESGへの取り組みについてお聞かせください

当社は、これまでも、フロンティア産業を供給するアイルリーや加工工業に特長がある（圧縮機、環境配慮）

アネスト岩田株式会社 誠心 (SINCERELY) アネスト岩田フィロソフィ

2021年主要業績

2021年10月31日現在

売上高	36,133 億円
営業利益率	65.2%
経常利益	1,111 億円
営業利益	11,354 億円
営業利益率	9%
営業利益率	17.8%
営業利益率	64.0%
営業利益	1,200 億円
営業利益率	1,045 億円
営業利益率	21%
営業利益率	36%
営業利益率	5,461 t-CO ₂

事業活動とその成果

CO₂削減率

気体の圧縮機 真空機構 (VAC)

液体の固化 連続凝固 連続造膜

創造する価値

2021年主要業績

- キャッシュの創出
 - 連続売上 35,588 億円
 - フリーキャッシュフロー 3,535 億円
- 富や地盤のニーズに合ったニーズに即した製品サービスの提供
 - ・ITツールを駆使したグループ全体の生産性向上
 - ・海外展開の推進
 - ・地域社会 社会貢献活動「100+」の実施
- 幅広い分野のニーズに応じた製品
 - ・CO₂削減率向上を推進
 - ・営業利益率向上を推進
- 顧客の抱く課題の解決
 - ・売上高 70%以上「世界トップ2」
 - ・グループ売上 50%以上「世界トップ2」
 - ・営業利益率 89.7%
 - ・営業利益率 89.7%
 - ・営業利益率 89.7%
- 安心して働き続けられる職場の形成
 - ・従業員満足度
 - ・正社員率 89.7%
 - ・従業員満足度
 - ・従業員満足度
- 地域社会との関わり強化
 - ・社会貢献活動
 - ・社会貢献活動
- 環境課題解決への貢献
 - ・環境課題解決
 - ・環境課題解決

環境活動に関する情報

環境活動に関する情報

環境活動に関する情報

塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業

(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン



↑
圧縮空気で
塗料を霧状に

コンプレッサ

空気圧縮機

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始



製品の差別化を
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性

製品の多様化
用途の開拓



塗装ロボット



エアブラシ



オイルフリー
スクロール型
真空ポンプ



オイルフリー
スクロール型
圧縮機

コーティング事業

塗装機器：
スプレーガン、塗料供給
ポンプなどの機器単体

塗装設備：
塗装機器と換気や乾燥
装置、塗装ロボットなどを
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機：
空気圧縮機、N2ガス発生
装置、タンクなどの補器類

真空機器：
真空ポンプ、バルブなどの
補器類

将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先： アネスト岩田株式会社
 経営企画部 IR広報室
 TEL: 045-591-9344
 E-mail : ir_koho@anest-iwata.co.jp
 URL : <https://www.anest-iwata.co.jp/>